

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公開番号】特開 2007-253631 (P2007-253631A)
【公開日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)
【年通号数】公開・登録公報 2007-038
【出願番号】特願 2007-175896 (P2007-175896)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/165 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 H

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 21 日 (2007.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷データに対応してインク滴をノズルプレートのノズル開口から吐出するインクジェット記録ヘッドと、

前記ノズルプレートに弾接してノズル開口形成領域をクリーニングするブレードと、
を備えたインクジェット記録装置において、

前記ブレードは、板状の本体部と当該本体部の一方の面の側に突出した拭き取り部とから形成されるときにも、

当該拭き取り部は、前記本体部よりも薄肉に形成され、

前記拭き取り部の先端が前記ノズルプレートと接触してクリーニングするインクジェット記録装置。

【請求項 2】

前記拭き取り部の先端は前記ノズルプレートと弾接して掻取るように払拭するを特徴とする請求項 1 記載のインクジェット記録装置。

【請求項 3】

前記円弧部の断面は、前記本体部の一方の面の側に突出した拭き取り部に近づくにつれてより薄肉となることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】

前記本体部と前記拭き取り部とは、断面が略円弧状をなす円弧部を介して接続されていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項記載のインクジェット装置。

【請求項 5】

前記インクジェット記録ヘッドは、前記ノズル開口形成領域に窓を備えたヘッドカバーにより保護され、前記薄肉部は、前記ヘッドカバーに接触することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 6】

前記ブレードはゴム材を射出成形して成形されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような課題を達成するために本発明においては、印刷データに対応してインク滴をノズルプレートのノズル開口から吐出するインクジェット記録ヘッドと、前記ノズルプレートに弾接してノズル開口形成領域をクリーニングするブレードとを備えたインクジェット記録装置において、前記ブレードは、板状の本体部と当該本体部の一方の面の側に突出した拭き取り部とから形成されるとともに、当該拭き取り部は、前記本体部よりも薄肉に形成され、前記拭き取り部の先端が前記ノズルプレートと接触してクリーニングするように構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

この実施例によれば、拭き取り部21の先端部21bがノズルプレートに接触しさえすれば、ノズルプレートとの摩擦により記録ヘッドの移動に伴って先端部21bがノズルプレートに鋭角的に接触するように弾性変形するから、記録ヘッドとの厳密な位置決めが不要となる。